

今後の水産業を盛り上げていく施策は

浜の活力再生プランの策定を進め、水産業の活性化に取り組んでいく



仲谷 政弘
自民クラブ

水産資源を活用した地域・経済活性化について

- 問** 愛知県は三河湾における栄養不足等へ対応するため、矢作川と豊川の栄養分を増やす試験をすることだが、田原市の取り組みは。
- 答** 今後、県と同様の取り組みができないか検討していく。
- 問** アサリやノリの品質と漁獲量確保のため、三河湾の水質や生育の調査を実施してはどうか。
- 答** 必要に応じて漁業者や県と調整を図り、対応する。
- 問** 今後の水産業を盛り上げていく施策は。
- 答** 国が推進する「浜の活力再生プラン」の策定を進めている。アサリなどの資源回復や青ノリ養殖業の安定生産と品質向上などをプランの基本方針に位置づけ、水産業の活性化に取り組んでいく。
- 問** 釣り人による経済効果を生み出す仕組みを工夫してみてもどうか。
- 答** 買い物や食事、宿泊への誘導などについて関係者と検討していく。

- 問** 渥美魚市場でアサリなどの貝類、ワカメ、ノリを含めた海藻の販売を試みてはどうか。
- 答** 販売する場合は、漁協や水産業者との連携が必要。当面はイベント的に販売し、継続的な販売の可能性について検討を進める。
- 問** 渥美魚市場で、一般客や観光客に競りの体験をさせることはできないか。
- 答** 市場法により、一般客や観光客に直接販売することはできない。今後、魚市場を活用したツアーづくりに取り組む中で、競り体験の可能性を検討していく。
- 問** 漁協、観光ビューロー、田原市が協力し、魚市場を多目的に活用できる方策を試みてはどうか。
- 答** 実践型地域雇用創出事業を活用し、観光ツーリズムや特産品開発・販売の拠点化など、魚市場の活用についても取り組んでいく。

市民の健康づくりの取組について

- 問** 地域コミュニティと協働で健康づくりに取り組んだ事例は。
- 答** 平成27年度に泉校区と健康づくりを考える会を開催した。校区の広報に健康だよりのコーナーを設け、校区主催のウォーキング大会も開催された。
- 問** 泉校区の取り組みを全校区に広げる予定は。
- 答** 今年度、赤羽根校区で健康づくりを考える会を開催し、肥満度や健診受診率、運動習慣など、地域の健康課題を一緒に考える場を設ける予定。地域で健康づくりの輪を広げていくこのような取り組みを全校区に拡充していきたい。
- 問** たはら健康マイレージを健康に関心のない世代へ広げるために行っていることは。
- 答** 平成27年度から、校区のウォーキング大会など地域コミュニティの行事やボランティア活動など、身近なものをマイレージ対象事業とした。



長神 隆士
自民クラブ

渥美地域に健康づくりの拠点施設を整備する考えは
市民館などを利用して、健康づくりを進めていきたい